

積聚會会報

積聚會通信

No.93

2019年4月号

目次

基礎Ⅰコース土曜クラスを受講してみました。	小林浩美	2
応用Ⅱコースを受講した感想	藤松志乃里	2
2019年度講習会 講師よりコメント		3
カレンダー		4

4月号はお試し版として会員以外の方にもご覧いただけるようになっています。他の号では様々な特集や記事を企画中です。興味のある方は是非入会をご検討してみてください。



積聚會学術大会 原会長講義の様子

基礎Ⅰコース土曜クラスを受講してみました。

やあた堂院長 小林浩美

積聚会通信編集部からこの話を依頼された時、「もっと真面目に基礎Ⅰ土曜クラスを受けていればよかった!」と後悔しました。それほどに、参加したクラスは和やかな雰囲気です。授業が進められ、あっという間の半年間でした。講師の小幡先生と助手の桂田先生の雰囲気がそうさせていたと思います。

土曜クラスの受講者は合計10名で、現役学生2年生と3年生、卒業直後の新米鍼灸師、ベテラン鍼灸師が参加していました。1クラスに講師と助手が1人ずつ。実技のときには2~3人の生徒に1人の講師・助手がみてくださり、随分と贅沢な講習会だと思いました。

基礎Ⅰコースは、まず三陰交付近に鍼をして肩の可動域を診るなど、患部に鍼をせずとも体に変化が出ることを体験します。それから、鍼の扱い方はもちろん、接触鍼、脈調整、腹診の方法、背部治療など、基本治療の手順を習います。その他、鍬鍼の扱い方や補助治療も教わり、最終受講時には臨床で即実践が可能となる流れになっています。

学生時に基礎Ⅰコースを受講した場合、卒業後すぐに臨床で治療ができるようになります。また、他流の治療をしている、独学で積聚治療を続けている先生が再受講する意味も大きいと思います。ちょうど私はパルス等の他流の治療をしていた頃に今回の基礎Ⅰコースを受講しています。なかなか痛みが取れない治療に悩んでいた時で、院長に内緒で積聚治療を行って効果がでたことに驚き、「やっぱり積聚治療はすごいなあ〜」と再確認させられたのです。

鍼は刺せばそれなりに効果がでると思います。ですが、「何故刺さなくとも効果が得られるのか?」「なんで患部に鍼をせずとも痛みが取れるのか?」「どうして小林詔司先生はこの様な方法を考えられたのだろうか?」など人により様々な角度で治療を見つめられるのではないのでしょうか。

やればやっただけ効果がでますし、やればやるほど面白い治療だと思います。ですから興味のある方は受講することをお勧めしますよ。

応用Ⅱコースを受講した感想

志仁鍼灸院 藤松志乃里

長野県長野市から1年間、受講しました。平成24年度に、信州医療福祉専門学校を卒業し、紆余曲折はありましたが、現在、積聚治療を勉強しています。

東京には色んな研修会場があり、勉強会に参加できる状況がありますが、地方にはそうないので、内容はとても吟味(笑)しつつ受講しています。まず先生方からいただいた教えは、「小林詔司先生になりなさい!」でした。「猿真似で良い、模倣をすることが大切なのだ!」と、言うことです。技術の模倣……は無理ですし、整形……も無理だし……。

「そうだ、服装を、作務衣に変えよう!」でもそれは技術に関係ないし?」と言う事で、治療を30分以内で終わられることから、私の自分改革は始まりました。ストップウォッチを購入し、問診から計測して30分で治療が終われるようになり、ようやくそこから応用Ⅱコースの受講を決意し、申し込みました。

私は、土曜日の原オサム先生の講習を受講しました。最初は基礎からのおさらいをし、吸角の練習です。初めて行う技術は散々な結果で、モデルをしてくれた先生に平謝りでした。自宅に帰り、猛反省。その後から猛特訓。姿見に自分の練習状況を映しそれをビデオに撮り再考する。そんな毎日でした。講習会では先生方に指導を受けつつ、技術のフィードバックをしていただき、励ましていただきながら、なんとか最終試験までこぎつけました。6人で受講した講習会、「ぜひ、皆で受かりたいね」と話ながら、皆、超緊張しつつ、試験に挑みました。

結果、原先生、森先生、小幡先生、受講した仲間のおかげで無事、全員合格できました。とはいえ、刺絡を教えていただき、ようやくスタート地点に立ったところです。未熟者でも、いろんな状態の患者さんがいらっしゃいます。期待に応えられるような治療家になれるように、日々精進して参りたいと思います。諸先輩方、ご指導の程、よろしく願い申し上げます。

2019年度講習会 講師よりコメント

2019年度の積聚治療講習会を担当する講師からのコメントをお届けします。

基礎Ⅰコース

【北海道クラス講師：鈴木美由紀】東洋的な思想の鍼灸治療である『積聚治療』の基本を北海道で学びましょう。まずは、鍼の扱い方や体の診方、触り方がとても大切になります。また、実際の治療と同じ手順、理論を確認しながら講習を行いますので、鍼灸師はもちろん、学生の方も安心してご参加いただけます。

【東京土曜クラス講師：桂田大輔】基礎Ⅰコースの内容は、その後続く全ての講習会はもちろん臨床にもつながる基本となります。だからこそ一つひとつの手順を丁寧に身に付けていきましょう！

【東京土曜クラス講師：小林隼人】基礎Ⅰコースでは、積聚治療の基本的な技術をしっかりと学んでいきます。鍼の扱い方や身体の診方、鍼をする時の姿勢や身体に触り方まで丁寧に進めていきます。積聚治療を通して、一本の鍼が身体に与える変化が感じられるようになると、きっと治療が楽しくなると思います。

【東京日曜クラス講師：伊賀秀文】鍼の扱い方、身体の診方を学ぶコースです。恥をかくことを恐れず、その場で理解しながら一緒に学びましょう。

【東京日曜クラス講師：高橋洋輔】積聚治療の楽しさ、伝わる時間にしたいと思います。

基礎Ⅱコース

【北海道クラス講師：鈴木美由紀】基礎Ⅰコースで学んだ基本治療の技量を上げることはもちろん、適切な補助治療の選択を中心に学ぶことになります。新たな指標の確認と病症に応じたツボをしっかりと覚え、実際に使っていくことで、どんな病名や症状にも対応できる「引出し」を増やしていきましょう。

【東京土曜クラス講師：横山季之】基礎Ⅱクラスでは、補助治療について学んでいきます。補助治療を身につけ使いこなせるようになると、今まで基本治療だけでは精気の虚が補いきれなかった患者さんにも対応できるようになってきます。

【東京日曜クラス講師：田坂里織】基本治療で精気の虚を補いきれなかった場合、補助として用いる手段が「補助治療」です。また、補助治療を用いる為には、新たな「指標」も必要となります。基礎Ⅱクラスでは様々な「補助治療」と新たな「指標」を学びます。

基礎集中コース

【基礎集中コース講師：中谷哲】基礎集中は、すでに鍼灸免許をお持ちの方に、基礎Ⅰ、基礎Ⅱの内容を毎週水曜日、半年間で学んでいく講座です。時間をかけずに臨床に直結させたい方向けです。

応用Ⅰコース

【東京木曜クラス講師：高橋大希】積聚会応用クラスを受講するという事は、積聚治療で臨床をやっていくという覚悟があるということだと思います。その為に必要となる知識と技術を学ぶ入口が応用Ⅰクラスです。精気の虚の原因を探り方、背部の腧穴治療の全貌を紹介します。

【東京土曜クラス講師：森孝史】基礎コースで習得した基本治療・補助治療を通して、病の原因（精気の虚の原因）を追求できるようにレベルアップしていきましょう！

応用Ⅱコース

【東京木曜クラス講師：高橋大希】精気の虚の原因の一つである外傷。その対応手段である SJ 三稜鍼による刺絡鍼法を学ぶのが応用Ⅱクラスです。しかし習得の難しい技術故、前半後半に分かれてのカリキュラ

ムになっており、前半最終回の実技試験の条件を満たした場合のみ後半を受講できます。

【東京土曜クラス講師：原オサム】 応用II講習会は、積聚治療講習会全過程の最終コースです。全治療過程の総仕上げに加え、毎回の站椿功及び外傷性の影響に起因した鬱血処置のテクニック、また、その器具の取り扱い等の習得が中心になる予定です。治療理論ばかりを知って安心するのではなく、実際の様々な病症にも対応できるように、技量を高めて頂きたいと思えます。

臨床研修コース

【臨床研修コース講師：中谷哲】 臨床研修は、それまで学んできた積聚治療を更に深めていき、治療とは何か、人とは何なのかを、臨床を通じて根元的に学び追求していく場です。既成概念から抜け出し臨床研究したい人向けです。

臨床実技コース

【藤原クラス講師：藤原典往】 積聚治療での臨床を通して気付いた、治療のコツや基本治療の生かし方など、皆で検討し合いながら講義をすすめていきます。

【加藤クラス講師：加藤稔】 物質の三態に「気体」という見方がある。或る気体（酸素など）の動きが4分間止まる時、人体には「全機能停止」という状態に至る。不思議な気体の働きと、「積」との関係性を実技で探究する。

易経入門講座

【易経入門講座講師：藤原典往】 易の中に森羅万象の原理が隠れています。まずは占いを通じて学んでいきますが、治療の中で使えるよう、時間をかけて取り組んでください。

カレンダー

今後の予定

ポストセミナー

11/23(土・祝)～24(日)
タワーホール船堀

第47回日本伝統鍼灸学会 学術大会 東京大会

11/23(土・祝)～24(日)
タワーホール船堀
実行委員：積聚会・和ら会

積聚治療説明会

東京会場
3/21(木・祝)
北海道会場
3/23(土)

夏期学生セミナー

8/3(土)～4(日)
東京衛生学園

終了しました

第2回 積聚会学術大会

2/10(日)～11(月・祝)

北海道春期セミナー

3/24(日)

編集後記

2019年度講習会では新しい講師が加わりました。今号のコメントで少しでも人柄をお伝えできたでしょうか？

本年度も『積聚会通信』をよろしく願いいたします。(桂田)

発行元：積聚会事務局

〒135-0001 東京都江東区毛利 2-9-18 グリーンパーク錦糸町 102

TEL・FAX：03-6659-9098

URL：http://shakuju.com E-mail：office@shakuju.com

郵便振替口座 番号：00170-2-441101 名前：合同会社積聚会

